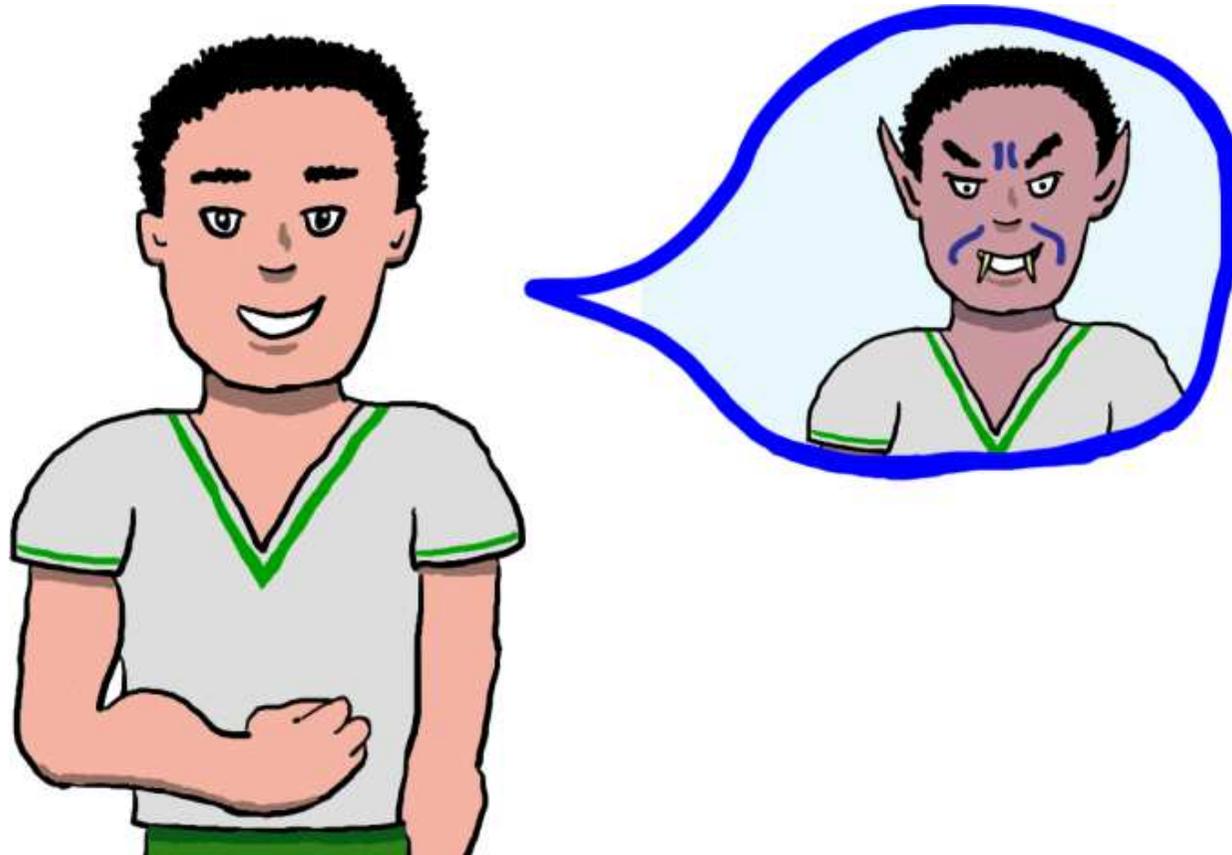


罰は再犯を生む



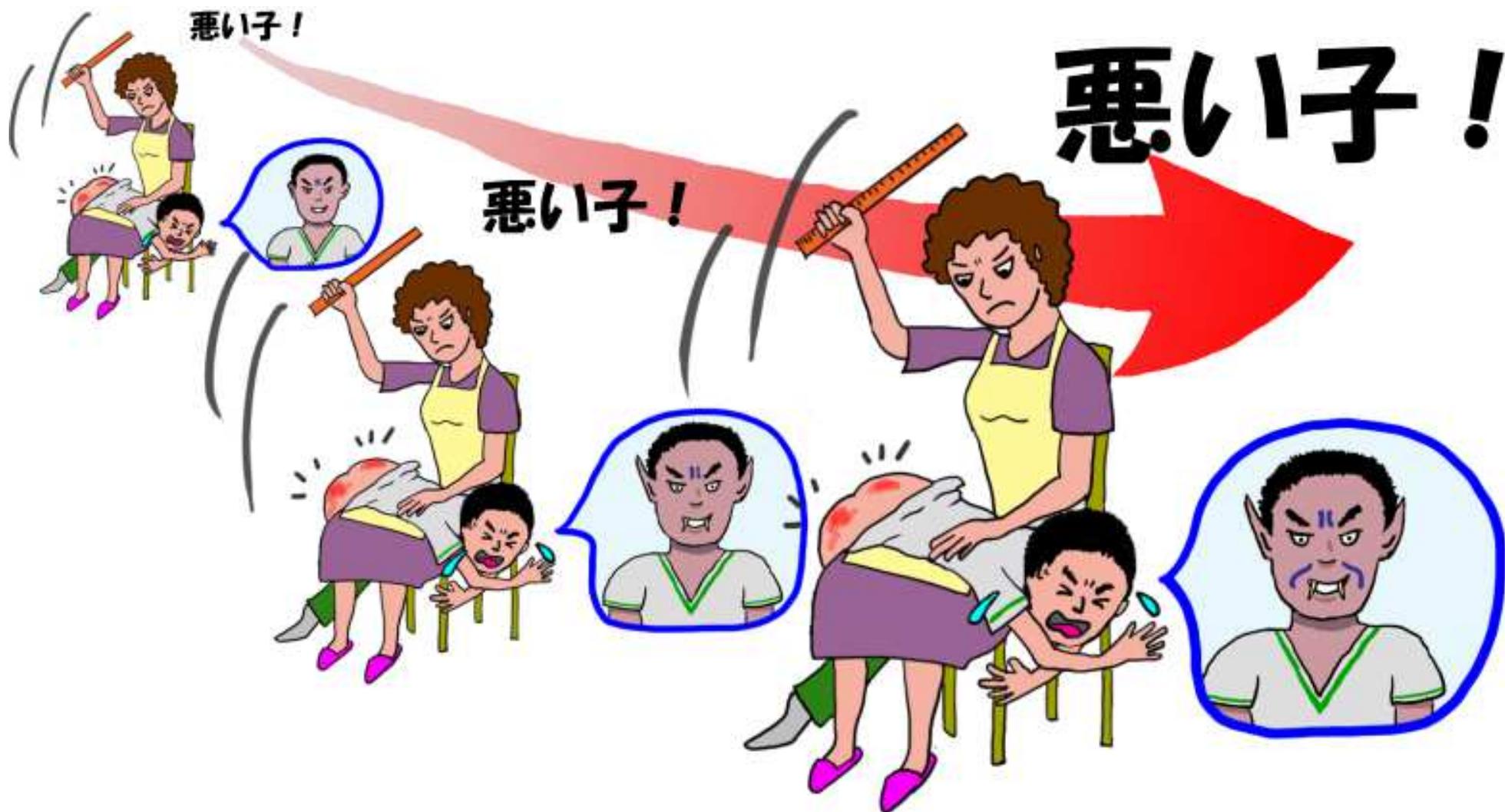
東郷 潤

あるところに、自分を悪人だと信じている人がいます。

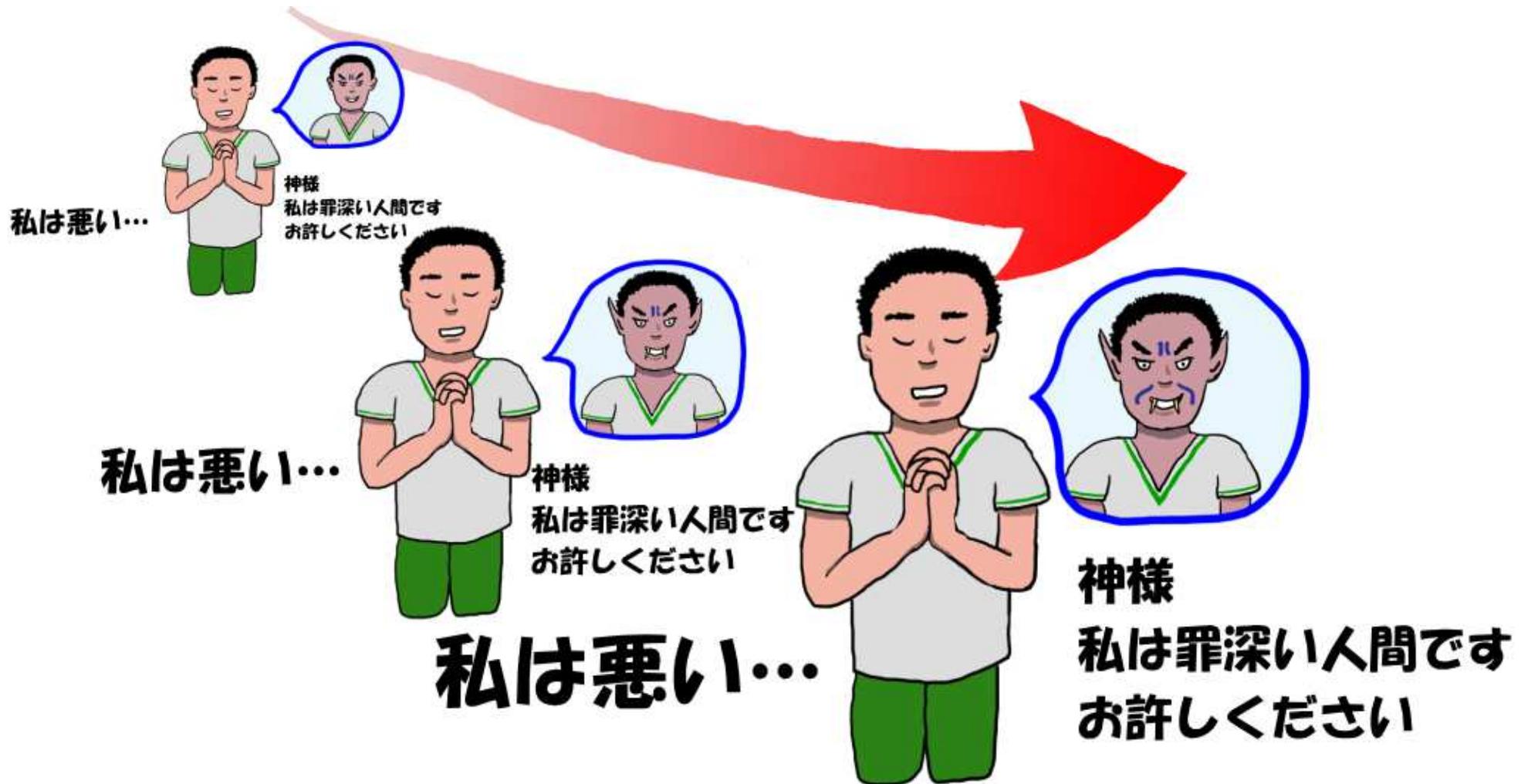


彼はなぜこんな、ひどい自己イメージを持っているのでしょうか？

もしかすると「悪い子！」と子供のころから叱られ続けてきたのかもしれない。



あるいは宗教的な錯覚で、「自分は悪人だ」という自己暗示を長年続けて来たのかもしれませんが。



いずれにしろ自分を悪人だと思う人が「悪いこと」をするのは、とても自然なことですね。



さて「悪いこと」をしていれば、逮捕されることもあるでしょう。





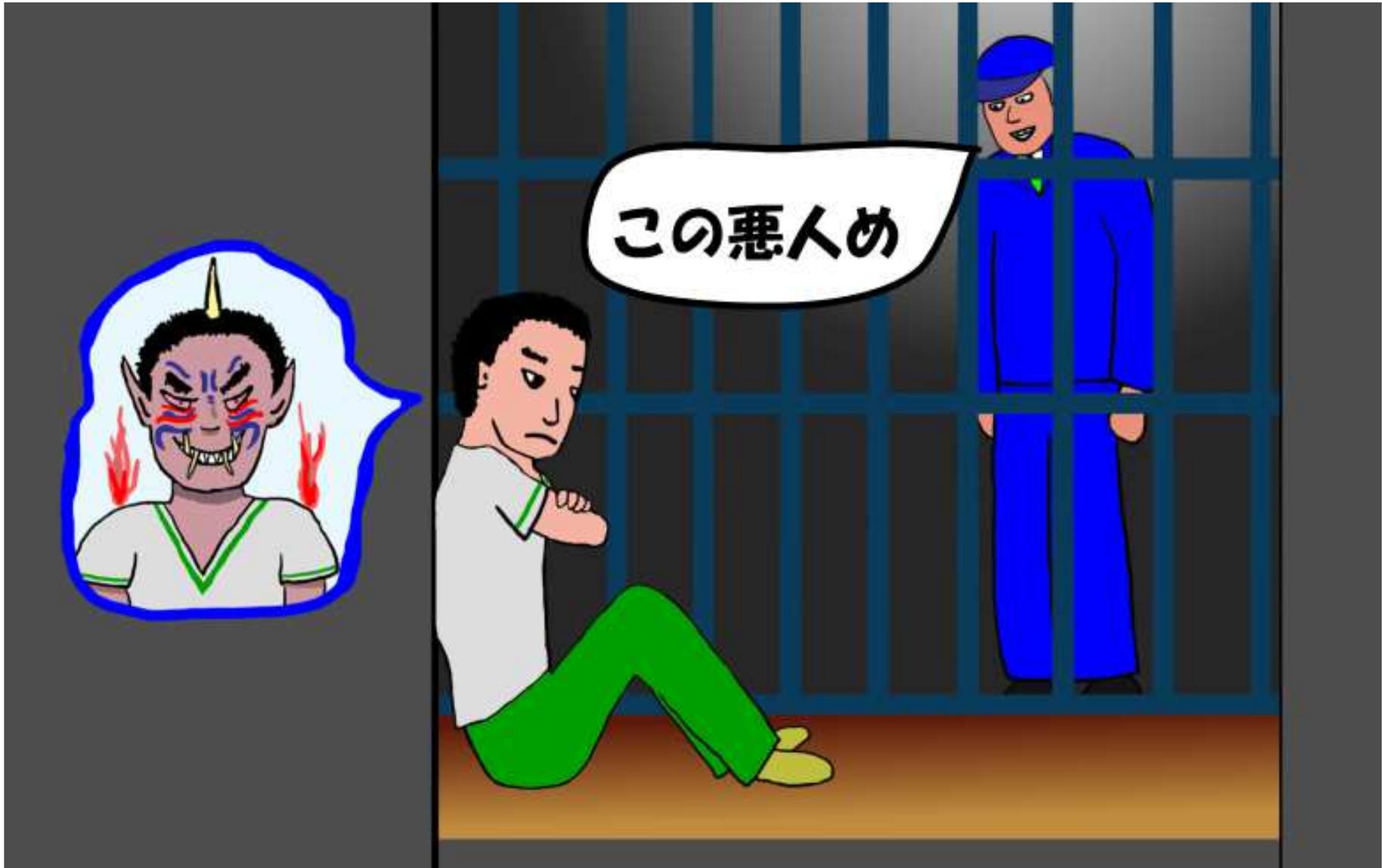
この悪党め！

あらいざらい、
とっとと吐け！



犯行は悪質であり、
同情の余地はない。

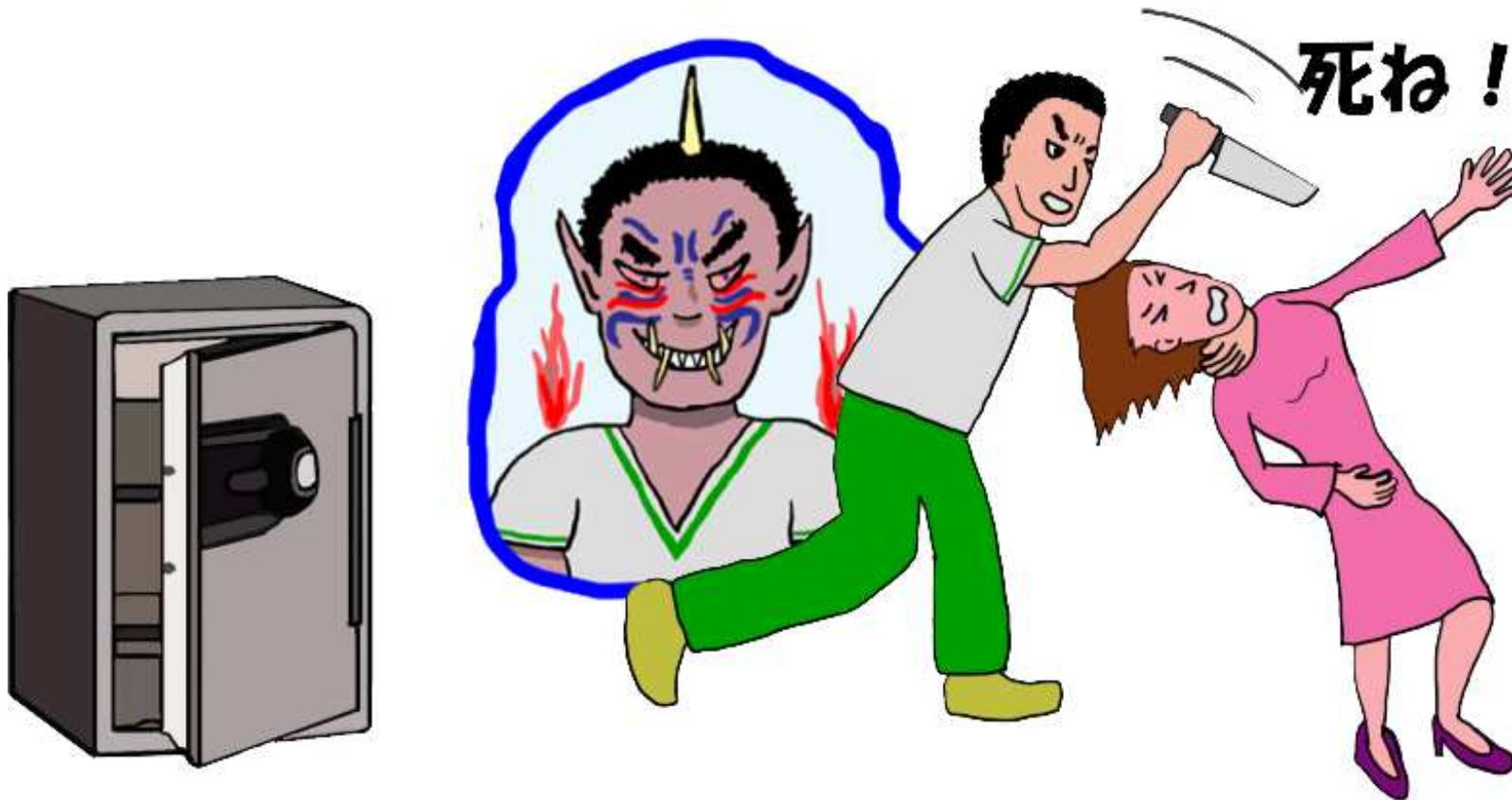
根っからの
悪人だな



数年後、刑期が満了し出所しました。自分を悪人だと思う人が、悪いことをするのは、ごく自然なことです。 彼はすぐまた犯罪を実行しました。



もし罰が、悪なる自己イメージを強めるなら、
それは次の犯罪の原因となるでしょう。
時に、より深刻な・・・



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017